

テーマ別パスファインダー



記述言語学の論文を書く



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2025年1月27日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

イントロダクション

◀ 記述言語学 (descriptive linguistics) とは？

記述言語学とは、世界中で話されている様々な言語の構造と特徴を包括的かつ網羅的に記述していこうとする学問のことです。世界には約 6000~8000 の言語が存在すると言われてはいますが、対象となる言語は何でもよく、これまでに記述があまり行われていない言語を一から記述することもあるれば、既にある程度まとまった記述がある言語の部分的によく分からない言語現象を記述することもあります。〇〇語と名前が付けられた言語だけではなく、その言語の変種（地域方言など）や若者ことば、言葉遊びなども記述言語学の対象となります。

記述言語学的な分析には、音声学、音韻論、形態論、統語論など言語学の様々な分野に関する基本的な知識が必要となりますが、このるくばすでは、特に記述言語学のレポートや論文を書く人を対象に、どのように言語データを集めるか、またどのようにその言語データを読者に示すかにポイントを絞って紹介します。

関係分野：音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、歴史言語学、社会言語学、言語類型論など

1 言語データの集め方

レポートや論文を書くうえで必要なものは「データ」と「方法論」です。特に、データという客観的な証拠がなくては、考察や評価のしようがありません。言語学で扱う具体的な言語データの収集には、コーパス言語学あるいはフィールド言語学という学問的方法論、あるいは既存の文献を利用します。

コーパス言語学とは、実際の書き言葉や話し言葉の例を大量に収集してデジタル化したコーパス (corpus) を用いて言語を研究する方法論のことです。コーパスによって多くのデータを比較的短時間で集めることができるだけでなく、様々なジャンルの文体からデータが集まるので、それらを対照させたり、言語の通時的な変化について記述したりすることができます。コーパス言語学については、次の本やるくばす「コーパスの使い方」を参照ください。

◀ [石川慎一郎 \(2021\) 『ベーシックコーパス言語学』 第2版. ひつじ書房.](#)

コーパス言語学をはじめて学ぶ初学者を対象として、研究の最新動向を取り入れながら、コーパス言語学の基本的な概念を整理しています。また実際にコーパスを用いて言語データを収集する具体的な方法論についても十分に解説しています。【外国図-4 階開架 801.05||203】

ただし、世界中の全ての言語データがコーパスとして整備されているわけではありません。世界中の言語のうち約半分以上の言語には文字で書くという習慣がなく、定まった正書法が存在しませんので、コーパスをもとに研究できる言語はそこまで多くはありません。コーパスで言語データが収集できないときは、フィールド言語学の方法論が役に立つかもしれません。

フィールド言語学とは、ある言語が話されている環境に足を運び、実際にその言語を話す人から言語データを収集して言語を研究する方法論のことです。調査協力者を探すのは大変ですが、自分の友人や家族の伝手を頼ったり、大学であれば留学生に調査の協力をお願いしたりすることで、フィールド言語学の「フィールド」が意外と身近な場所で見つかるかもしれません。フィールド言語学については、次の本やサイトを参照ください。

＜ [古閑恭子 \(2022\)『フィールドワークではじめる言語学：なじみのない言語から考える』ひつじ書房.](#)

ガーナのアカン語を対象にした筆者のフィールドワークを通じて言語学の基礎を解説しているので、言語学の基本的な知識を整理するのに役立ちます。第7章「言語をフィールドワークする」では、フィールドワークによる言語調査の進め方を簡単に紹介しています。【総合図-A 棟4階 学習用図書 801||K0G】

＜ [吉岡乾 \(2019\)『現地嫌いなフィールド言語学者、かく語りき。』創元社.](#)

パキスタンの山奥で言語のフィールドワークを行う筆者が調査地で直面する悩みや人との出会い、別れについてユーモアを交えながら書き記しています。フィールドでの滞在や調査協力者との付き合い方に関して参考になる点が多いです。【外国図-4 階開架 802||185】

＜ [古本真「フィールド言語学への誘い：ザンジバル編」](#)

https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/column/field_linguistics_swahili01 (URL 確認：2025年1月14日)

言語学のフィールドワークを行ううえでの事前準備、話者と良好な関係を築くまで、そしてどのように調査を行うのかについて、その実態を分かりやすく紹介しています。全12話のweb連載なので、フィールド言語学の雰囲気をもっと味わいたい方におすすめです。【Web】

自分の周りで研究対象の言語の話者をなかなか見つけることができないときは、YouTubeなどの動画サイトを用いてその言語の歌やテレビ番組を探して、その音声を聞き取って実際に書き起こしてみると良いでしょう。それらも立派な言語データとなります。

フィールド言語学では、実際にその言語の音声を聞き取ることができますが、音声の書き起こしにはある程度時間がかかります。そのため、既存の文献からまとまった量の言語データを収集しても良いでしょう。例えば、ある言語の文法書にはたいてい民話の類が収録されているほか、聖書や『星の王子さま』は世界のあらゆる言語に翻訳されているので、それらを参照することで当該言語の形態論や統語論、さらに情報構造などを記述することができます(残念ながら、ほとんどの場合、文法書に音声データは収録されていません)。

2 言語データの示し方

十分な量の言語データが集まれば、次は言語データの精緻な分析と考察に移りますが、その前にこれらのデータをきちんとした形で読者に示す必要があります。まず、必要に応じて集めた言語データを誰がみても分かる形に直します。日本語を除いてラテン文字で表記される言語であれば特に問題はありませんが、キリル文字やアラビア文字などの一般の読者にあまり馴染みのない文字で表記される言語であれば、ラテン文字に転写する必要があります。また、文字で書く習慣のない言語については、国際音声字母 (IPA) と呼ばれる記号体系を用いたり、ラテン文字に適宜記号を付け加えたりします。転写の方法については各言語の先行研究を、文字で書く習慣のない言語の具体的な表記については以下の本を参照ください。

＜ [塩原朝子・児玉茂昭編 \(2006\)『表記の習慣のない言語の表記』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.](#)

国内外の表記の習慣のない言語に関して、これまで研究者が用いてきた表記法と話者自身による表記法の相違点について主に解説しています。また、文字をめぐる社会言語学的状況について他地域と対照しながら考察することができます。【外国図-4 階開架 801.1||274】

次に、読者があまり知らないと思われる言語データを提示するときは、必ずグロスを付けましょう。グロスとは、その語の持つ意味や文法に関する情報のことで、例文に隣接する行に訳文とは別に記すものです。例えば、以下のように記述する場合、1 段目が例文、2 段目がグロス、3 段目が訳文に相当します（これは実際に筆者がフィールドワークで収集したハウサ語の言語データです。なお、これは現時点での筆者の分析であり、今後の更なる分析により、グロスや表記が変わる可能性があります）。

(1) ita bàhausà nē.
3SG.F Hausa COP
「彼女はハウサ人です。」

(2) shà ruwa !
drink.IMP water
「水を飲みなさい！」

例文を示すときは、上記のように (1)、(2) と例文番号を通して付け、必要に応じてグロスをつけます。あまり馴染みのない言語の場合、言語データと訳文に加えてグロスをつけることで、幅広い読者からの意見を期待することができます。加えて、グロスをつけるとごまかしがきかなくなるので、分析により一層の慎重さが要求され、分かった気になる、あるいは分かった振りをする態度を避けることができます。

グロスには様々な略語（上記の例であれば 3SG.F や COP など）が便宜的に使用されます。例えば、3SG.F は 3 人称単数の女性形を、COP はコピュラ（繫辞）を表します。なお、言語学の世界では、Leipzig Glossing Rules と呼ばれるグロスの提示方法に則った記述が一般的です。グロスのつけ方とグロスに使用する略語については、以下の本とサイトを参照ください。

＜ [中山俊秀、江畑冬生編（2006）『文法を描く：フィールドワークに基づく諸言語の文法スケッチ』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.](#)

フィールドワークに基づく様々な言語の文法スケッチ（簡易的な文法概要）をまとめたものです。フィールド言語学の方法論を解説したものではありませんが、言語データのみせ方やグロスのつけ方など書式の面で参考になることが多いです。【外国図-4 階開架 802||126||1, 2】

＜ [Leipzig Glossing Rules](#)

<https://www.eva.mpg.de/lingua/resources/glossing-rules.php>（URL 確認：2025 年 1 月 14 日）

言語学の世界で最も一般的なデータ提示方法である Leipzig Glossing Rules についての規則や使用する略語一覧が掲載されています。【Web】

＜ [「言語研究」執筆要項](#)

<https://www.ls-japan.org/modules/documents/LSJpapers/j-gkstyle202207.pdf>（URL 確認：2025 年 1 月 14 日）

レポートの書式（注や参考文献のつけ方）が講義等で決められている場合は必ずそれに従ってください。特に書式の指定がない場合は、日本言語学会の学会誌『言語研究』の執筆要項を参考にすると良いでしょう。書式の見栄えが良いと、レポートや卒業論文の評価が少し良くなります。【Web】